

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	0.8%マラカイトグリーン染色液（ヒメネス用）
会社名	武藤化学株式会社
住所	東京都文京区本郷2-10-7
電話番号	03-3814-5511
FAX番号	03-3815-4832
メールアドレス	mutopop@mutokagaku.com
推奨用途及び使用上の制限	検査・研究用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分3
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分2（血液）
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

飲み込むと有毒

重篤な眼の損傷

長期又は反復ばく露による血液の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

国・地域情報

【応急措置】

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

漏出物は回収すること。

【保管】

暗所保存

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学名又は一般名

分子式 (分子量)

CAS番号

官報公示整理番号 (化審法・
安衛法)

分類に寄与する不純物及び
安定化添加物

濃度又は濃度範囲

混合液

マラカイトグリーン

C₂₃H₂₅N₂.Cl (364.92)

569-64-2

(5)-2033

データなし

0.8%

水

99.2%

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

目に入った場合

飲み込んだ場合

予想される急性症状及び遅発性症状

最も重要な兆候及び症状

応急措置をする者の保護

医師に対する特別注意事項

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

水と石鹼で洗うこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

データなし

データなし

データなし

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

棒状放水

熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

激しく加熱すると燃焼する。

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

適切な空気呼吸器、防護服 (耐熱性) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および
緊急措置

全ての着火源を取り除く。

環境に対する注意事項
回収・中和
封じ込め及び浄化方法・機材
二次災害の防止策

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離す
関係者以外の立入りを禁止する。
密閉された場所に立入る前に換気する。
環境中に放出してはならない。
漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火
炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保
護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気
を行う。

安全取扱い注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
粉じん、蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。
飲み込まないこと。
眼に入れないこと。
環境への放出を避けること。
皮膚との接触を避けること。
データなし
特別に技術的対策は必要としない。
データなし
酸化剤から離して保管する。
暗所、換気の良い場所で保管すること。
データなし

保管

接触回避
技術的対策
混触危険物質
保管条件

容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく
露指標)

日本産衛学会(2007年版)
ACGIH(2007年版)

未設定

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャ
ワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
適切な呼吸器保護具を着用すること。
適切な保護手袋を着用すること。
適切な眼の保護具を着用すること。
適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 形状

液体

色

濃緑色

臭い

データなし

pH

酸性

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

自然発火温度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発範囲

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度
蒸発速度(酢酸ブチル=1)
比重(密度)
溶解度

データなし
データなし
データなし
水: 4.0×10^{-4} mg/L (25°C)
アルコール、メタノール、アミルアルコール: 可溶

オクタノール・水分配係数
分解温度
粘度
粉じん爆発下限濃度
最小発火エネルギー
体積抵抗率(導電率)

log Kow=0.62: HSDB (2005)
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる
データなし
データなし
データなし
データなし

11. 有害性情報

急性毒性 経口

マウスにおけるLD50値 80mg/kg(HSDB, 2005)に基づき、区分3とした。

経皮
吸入

データなし
吸入(ガス): GHS定義による液体である。
吸入(蒸気): データなし
吸入(粉じん): データなし

皮膚腐食性・刺激性
眼に対する重篤な損傷・刺激性

データなし
ヒトにおける眼損傷性の報告があり、ウサギにおいて、「結膜の浮腫、充血、化膿から角膜混濁、壊死、角膜腐肉斑におよぶ重篤な損傷」の記述がある。EU分類においてもR41(区分1相当)であることから、区分1とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性: データなし
皮膚感作性: データなし

生殖細胞変異原性

ラットおよびマウスを用いた小核試験における陰性結果から区分外とした。

発がん性

ラットの雌を用いた混餌試験(0-600ppm, 2年間)において甲状腺、肝細胞及び乳腺に腫瘍がみられるが「不明瞭な証拠」とあるため、分類できないとした。

生殖毒性

ラットの強制経口試験(器官形成期(critical period): 50 or 500 mg/kg)において、骨奇形(malformation)の発生率に異常は認められないが、親の生殖能力に関するデータがなく、また1試験のみで他に情報が得られないことからデータ不足で分類できないとした。

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

データなし

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

ラットの混餌試験(28日間: 0-1200 ppm)において、雌1200ppm群(90日補正: 50mg/kg bw)で赤血球数、ヘモグロビン濃度およびヘマトクリット値の顕著な減少が認められた。マウスの混餌試験(28日間: 0-1200ppm)では、雌雄300ppm群(90日補正 21mg/kg bw)にて、赤血球、ヘマトクリットおよびヘモグロビン濃度の顕著な減少、網赤血球(reticulocyte)の顕著な増加がみられた。ラットおよびマウスで見られた血液変化およびこれら所見は貧血症状を示す「indicative of anemia」と記述があることから区分2(血液)とした。
データなし

吸引性呼吸器有害性

12. 環境影響情報
水生環境急性有害性 魚類(ブルーギル)の96時間LC50 = 0.0305 mg/Lから、区分1とした。
水生環境慢性有害性 急性毒性区分1であり、急速分解性がない(難分解性、BODによる分解度:0.3%ことから、区分1とした。
13. 廃棄上の注意
残余廃棄物 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意
国際規制 海上規制情報 該当しない
航空規制情報 該当しない
UN No. 該当しない
国内規制 陸上規制情報 該当しない
海上規制情報 該当しない
航空規制情報 該当しない
特別安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。
- 緊急時応急措置指針番号
15. 適用法令 非該当
16. その他の情報
全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等に利用される場合には、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、記載事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な手扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を実施した上、お取扱い願います。当製品の譲渡時には本SDSを添付してください。